

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせて、その時の 体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています
事業所名	小規模多機能型居宅 介護アネックス関原	管理者	松田 悠一		

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	1人	利用者	1人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	人	事業所職員	2人	その他	人	合計	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>係や担当を付けた取り組みは継続し問題意識を持ったり、意見を反映できるようにしていく。</li> <li>ライフサポートワークや外部評価の勉強会を行い、全スタッフで共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサポートワークや外部評価の勉強会を行っているが、全スタッフがつかり理解している状態までには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期支援のかかわりで勤務体制的に難しいと思うがその中でも同行訪問できるように調整していることが素晴らしいので続けてもらいたい。</li> <li>業務で忙しい中、評価に取り組まれている。</li> <li>できていない点から改善計画が導かれていると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価の係を中心に毎月のミーティングで進捗状況を確認し、計画を進めて行く。</li> </ul>
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備の年間計画を立て、年間を通して季節を感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備の係の職員を中心に年間の計画を立てる予定だったが、ご利用者と一緒に季節ごとの花の苗や種を買いに行き、ご利用者と一緒に事業所の花壇やプランターで季節を感じられる取り組みを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少し花があるだけでも十分だと思う。</li> <li>地理的な条件や建物の構造もあるところと思う。</li> <li>花を育てるだけでも大変だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備の係を中心にご利用者と一緒に季節の花の苗や種を購入する。</li> <li>ご利用者と一緒に季節に合わせた創作活動や飾りつけを行う。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>係を決め、地域向けの広報誌を発行を行う。</li> <li>参加できるご利用者と一緒にクリーン作戦や花いっぱい運動に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月に地域向けに広報誌を発行した。今後も継続的に発行していく。</li> <li>毎月の公園清掃や花いっぱい運動の花植えにご利用者と一緒に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が出入りしている場所だとわかるとちよつと聞いてみようかなと思えるのでそういう雰囲気を作ってもらいたい。</li> <li>バスやタクシーで行くのではなく、近くにちよつと顔を出して聞いてみようかなと思える雰囲気があると良い。</li> <li>子どもが来れば、つられて親も一緒に来たりもすると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年4回(1、4、7、11月)広報誌を発行し啓発をしていく。</li> <li>参加できるご利用者と一緒にクリーン作戦や花いっぱい運動の参加の継続。</li> </ul>

<p>D. 地域に外向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>・お茶会やサークル活動などの社 会資源一覧を作る。 ・コロナが終息した場合はお茶会 やサークル活動に参加する。</p>	<p>・コミセンの福祉担当の方に話を 聞き、コミセンで行っている社会 資源一覧を作ったり、町内で出し てもらうサークル活動を見て担 当と連絡を取り参加を検討して いる。 ・コロナの影響もあり、参加でき ていない。</p>	<p>・地域のサークル活動もコミセンだと 遠いので事業所の近くの活動を考え ても良いと思う。 ・出向いていくことも大切だけど職員 の負担になるのではないか。出向くこ とも大切だが、来てもらうことで良い のではないか。 ・コミセンの食事に参加している事 業所もある。ご利用者と職員が地域の 方と一緒にご飯を食べることで、そこ でつながりもできる。 ・コミセンの文化祭に作品を出し、地 域の方に見てもらい取り組みをしてい る事業所もある。 ・地域のいろいろな行事に対しての取 り組みをしていて素晴らしいと思っ た。取り組みを続けて、いろいろな行 事にコツコツ参加することで明るく前 向きに暮らして行けると思ったので続 けてほしい。</p>	<p>・町内のサークル活動と交流す る。 ・コミュニティーセンターと連携 し年間行事を把握し参加してい く。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>・ご利用者に必要な支援について 検討する事によって地域の課題 をみつけ情報共有する。</p>	<p>・アネックス関原の運営推進会議 では検討の時間がなく、実施でき ていないが、サテライト事業所の 運営推進会議で時間をもらい徘徊 される方のケースについて検 討させてもらう。</p>	<p>ピンポイントにこの人が困って いるからという話ではなくても、 認知症の方が徘徊されている時 の対応をどうしようか等、地域全 体としてどうしていくかという 話も運営推進会の中で議題にで きると良い。</p>	<p>・多くの職員が運営推進会議に参 加する機会を作る。 ・ご利用者の支援について運営推 進会議で意見交換することでも地 域課題をみつけ共有していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・地域の避難訓練への参加の継 続。 ・福祉避難所としての地域への周 知。</p>	<p>・地域の避難訓練は事業団のイベ ントと重なり参加できなかつた。 ・地域の福祉懇談会に声をかけて いただき、福祉避難所としての周 知を行った。</p>	<p>・関原地区の福祉懇談会に縄文の 杜様と一緒に声がかかったこと は関原地区の福祉避難所として だと思ふ。民生委員や町内会長が 集まっている場で福祉避難所と は何か、どういう使い方をしたら 良いのか等を伝えていくことで 周知になると思う。 ・広報やパンフレットの周知につなげる ことで地域への周知につなげる と思う。</p>	<p>・地域の避難訓練への参加を継続 していく。 ・事業所の防災訓練に参加してい ただき意見をいただく。 ・災害時に、町内会と連携し、避 難所の開設状況や必要な方を事 業所で受入れができるように事 前に連絡方法などを検討しまニ ュアルを作る。</p>